

2016年度  
事業報告並びに活動決算書



特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

# 2016年度 特定非営利活動法人東ティモール医療友の会 (AFMET) 事業報告

## 1. 概要

2016年度は、味の素株式会社「食と健康」国際協力プログラムによる「栄養失調児の減少を目的とした母親対象の栄養と食に関する知識向上プログラムとその実践」の継続実施を中心に活動を行った。

また、昨年実施した JOMAS (海外邦人宣教者活動援助後援会)からの助成事業、女性の自立、栄養源の確保と収入創出を目的とした現地製品ココナッツオイル生産支援プログラムで立ち上げられた現地女性グループを継続支援した。

AFMET を東ティモールのローカル NGO として政府登録するため、現地での協力者の獲得やローカルスタッフ間の話し合いなどを行った。

スペシャリストビザが取得できないなど、査証取得に非常に困難な状況であるが、引き続き事業の継続実施を目指してきた。

国内活動では、7月に神奈川県厚木において映画「カンタ！ティモール」上映と報告会を行ったほか、東ティモールフェスタへの参加など積極的に行った。

## 2. 事業報告

2016年度は、引き続き味の素「食と健康」国際協力支援プログラムの助成を受け、ラウテン県イリオマール準郡5村1, 561世帯<sup>1</sup>を対象とし、地域の母親に栄養失調児減少を目的とした栄養と食に関する知識向上プログラムを実施した。また、JOMAS (海外邦人宣教者活動援助後援会)からの助成を受け組織した、バージョンココナッツオイル生産を行う現地女性グループ Koko moris<sup>2</sup>を継続して支援した。

JICA (独立行政法人国際協力機構) 事業中に組織した、協働組合である FINI<sup>3</sup>は、AFMET から独立し、東ティモール政府への組織登録を完了したため、補助的な支援を継続して行った。

### I プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業

#### 1. SISCa (母子健康診療サービス)<sup>4</sup>セミナーの実施

ラウテン県イリオマール準郡では、PSF<sup>5</sup> (政府保健ボランティア) のインセンティブが支払われない等問題があり、SISCa プログラムの実施があまり行われてきていなかった。そのため、村長・PSF を集め、SISCa について再度説明するとともに、各人が自分たちの役割を再確認する機会を提供した。

実施日: 5月23～25日 (3日間)

実施場所: イリオマール準郡役所

実施関係者: ラウテン県保健局スタッフ3名 (公衆衛生プログラム、栄養プログラム、母子保健プログラム)

1 イリオマール I 村 397 世帯、イリオマール II 村 351 世帯、アイレベレ村 264 世帯、カエンリウ村 340 世帯、フアト村 209 世帯。

2 Koko moris テトウン語で生活を試すという意味。

3 FINI: Fuan Ida Neon Ida テトウン語で一心同体の意。2008 年に AFMET によって組織された協同組合。天然素材を使って生産した石鹼・薬草の販売、ココナッツオイルの販売を行っている。

4 保健省実施しているプログラムの一つ。医師・看護師・PSF が月に 1 度村々を訪問して行う母子健康診療サービス。SISCa には Meja-メジャ (テトウン語で机の意) と呼ばれる 6 つのデスクがある。

Meja1: Registration Meja2: Nutrition Meja3: Consultation for pregnant women and nursing mothers

Meja4: Assistance Environmental Health Meja5: Consultation, Prescription Meja6: Health Promotion

5 政府保健省によって組織されている保健ボランティア。各村に 5 人ずつ配置されている。英訳は、Family Health Promotor。

各1名)、イリオマール準郡 CHC<sup>6</sup>スタッフ2名、AFMET スタッフ3名

参加者:イリオマール準郡準郡長1名、村長4名、PSF20名 計33名

## 2. 5歳未満の子どもの身体測定、栄養セミナー、調理セミナー

SISCa(母子健康診療サービス)が実施されていない集落をイリオマール準郡 CHC 栄養プログラム担当者、PSF、看護師/助産師と共に訪問し、5歳未満の子どもの身長・体重・上腕の測定を行った。

身体測定だけではなく、参加者に向けて栄養セミナー・調理セミナーを実施し、母子手帳の重要性、栄養失調の原因、栄養失調が身体に与える影響などを、教本を使用して指導した。また、栄養のある食事について母親に理解してもらう目的で、モリंगाを使用した食事を作り、メニューを配布。家庭でも栄養のある食事を作れるよう工夫した。

実施日:6月13～30日、7月7～25日、8月2～19日、9月16日、10月3～21日、12月5～22日、  
2月1～21日(計 69回)

実施場所:5村15箇所

実施関係者:イリオマール準郡 CHC 栄養プログラム担当者1名、看護師1名、助産師1名、PSF5名、  
AFMET スタッフ3名

参加者:5歳未満の子ども、母親ほか

プライマリ・ヘルスケアの普及促進事業 身体測定・栄養セミナー・調理セミナー 詳細

回数	集落名 (村名)	参加者		セミナー内容	実施日
		5歳未満の子ども	一般		
第1回	レイロール (アイレベレ)	11名	39名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	6月13日
第2回	ブブタウ (カエンリウ)	12名	32名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	6月15日
第3回	アカディルロ (ファト)	16名	38名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因と影響	6月17日
第4回	オソヒラ、ワタマタル (イリオマールI)	16名	32名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因と影響	6月20日
第5回	アラアラ、カエンタウ (イリオマールI)	12名	27名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	6月22日
第6回	ワタオマール (ファト)	6名	17名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	6月23日
第7回	カイダブ (イリオマールII)	32名	40名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因と影響	6月24日
第8回	ボイキラ (イリオマールII)	15名	23名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因と影響	6月27日
第9回	ヘイタリ (アイレベレ)	24名	18名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因と影響	6月29日
第10回	マアラファル (アイレベレ)	24名	33名	・母子手帳の重要性 ・栄養失調の原因	6月30日
第11回	マアラファル (アイレベレ)	19名	54名	・栄養失調の身体への影響 ・B型肝炎予防接種	7月7日
第12回	レイロール (アイレベレ)	19名	43名	・栄養失調の身体への影響 ・B型肝炎予防接種	7月11日
第13回	ワタオマール (ファト)	8名	23名	・栄養失調の身体への影響 ・B型肝炎予防接種	7月12日
第14回	カエンタウ	12名	32名	・栄養失調の身体への影響	7月13日

<sup>6</sup> Community Health Center

	(イリオマール I)			・B型肝炎予防接種	
第 15 回	リウファルノ (カエンリウ)	12 名	35 名	・栄養失調の身体への影響 ・B型肝炎予防接種	7月15日
第 16 回	ブブタウ (カエンリウ)	6 名	22 名	・栄養失調の身体への影響 ・回虫予防について	7月18日
第 17 回	ヘイタリ (アイレベレ)	13 名	23 名	・栄養素について	7月20日
第 18 回	カイダブ (イリオマール II)	38 名	56 名	・栄養素について ・デモクッキング	7月22日
第 19 回	ボイキラ (イリオマール II)	17 名	37 名	・栄養素について ・デモクッキング	7月25日
第 20 回	カエンタウ (イリオマール I)	24 名	43 名	・栄養素について ・デモクッキング	8月2日
第 21 回	ヘイタリ (アイレベレ)	17 名	31 名	・栄養素について ・デモクッキング	8月3日
第 22 回	ワラファル (アイレベレ)	23 名	46 名	・栄養素について ・デモクッキング	8月4日
第 23 回	バイタウ (イリオマール I)	16 名	33 名	・栄養素について ・デモクッキング	8月5日
第 24 回	オソヒラ、ワタマタル (イリオマール I)	10 名	23 名	・栄養素について	8月8日
第 25 回	ワタオマール (ファト)	11 名	37 名	・栄養素について ・デモクッキング	8月9日
第 26 回	リヒナ (イリオマール I)	20 名	52 名	・母子手帳の重要性 ・栄養素 ・栄養失調の原因	8月10日
第 27 回	ボイキラ (イリオマール II)	12 名	34 名	・発育曲線の見方	8月11日
第 28 回	レイロール (アイレベレ)	16 名	35 名	・栄養素について	8月12日
第 29 回	カイダブ (イリオマール II)	21 名	41 名	・発育曲線の見方 ・マラリア予防	8月15日
第 30 回	ベトゥマウコロン (イリオマール II)	19 名	40 名	・母子手帳の重要性 ・栄養素 ・栄養失調の原因	8月16日
第 31 回	リウファルノ (カエンリウ)	33 名	39 名	・母子手帳の重要性 ・マラリア予防	8月17日
第 32 回	ラリミ (カエンリウ)	28 名	52 名	・母子手帳の重要性 ・栄養素 ・栄養失調の原因	8月18日
第 33 回	ブブタウ (ファト)	21 名	34 名	・栄養素について ・マラリア予防	8月19日
第 34 回	リヒナ (イリオマール II)	19 名	86 名	・デモクッキング ・離乳食の 与え方 ・母乳体操	9月16日
第 35 回	ヘイタリ (アイレベレ)	15 名	34 名	・母乳育児の重要性	10月3日
第 36 回	マアラファル (アイレベレ)	10 名	29 名	・母乳育児の重要性	10月4日
第 37 回	ボイキラ (イリオマール II)	13 名	37 名	・母乳育児の重要性	10月5日
第 38 回	バイタウ (イリオマール II)	11 名	26 名	・母乳育児の重要性 ・デモクッキング	10月6日
第 39 回	カエンタウ (イリオマール I)	15 名	38 名	・母乳育児の重要性	10月11日
第 40 回	レイロール (アイレベレ)	14 名	31 名	・母乳育児の重要性	10月12日
第 41 回	ワタオマール (ファト)	15 名	27 名	・母乳育児の重要性	10月13日

第 42 回	リウファルノ (カエンリウ)	18 名	46 名	・母乳育児の重要性	10 月 17 日
第 43 回	ラリミ (カエンリウ)	22 名	41 名	・母乳育児の重要性 ・デモクッキング	10 月 18 日
第 44 回	ブブタウ (フアト)	8 名	23 名	・母乳育児の重要性	10 月 19 日
第 45 回	カイダブ (イリオマール II)	26 名	46 名	・母乳育児の重要性	10 月 20 日
第 46 回	ベトウマウコロ (イリオマール II)	9 名	29 名	・母乳育児の重要性 ・デモクッキング	10 月 21 日
第 47 回	ボイキラ (イリオマール II)	13 名	38 名	・母乳体操	12 月 5 日
第 48 回	バイタウ (イリオマール I)	9 名	18 名	・母乳体操	12 月 5 日
第 49 回	カイダブ (イリオマール II)	23 名	46 名	・母乳体操	12 月 6 日
第 50 回	ベトウマウコロ (イリオマール II)	12 名	32 名	・母乳体操	12 月 6 日
第 51 回	オソヒラ (イリオマール I)	13 名	33 名	・母乳体操	12 月 8 日
第 52 回	ヘイタリ (アイレベレ)	11 名	37 名	・母乳体操	12 月 13 日
第 53 回	マアラファル (アイレベレ)	9 名	27 名	・母乳体操	12 月 13 日
第 54 回	ワタオマール (フアト)	9 名	34 名	・母乳体操	12 月 22 日
第 56 回	ラリミ (カエンリウ)	26 名	32 名	身体測定のみ	2 月 1 日
第 57 回	ワタオマール (フアト)	8 名	26 名	身体測定のみ	2 月 2 日
第 58 回	カイダブ (イリオマール II)	22 名	38 名	身体測定のみ	2 月 3 日
第 59 回	ベトウマウコロ (イリオマール II)	19 名	38 名	身体測定のみ	2 月 6 日
第 60 回	カエンタウ (イリオマール I)	18 名	26 名	身体測定のみ	2 月 7 日
第 61 回	オソヒラ (イリオマール I)	10 名	23 名	身体測定のみ	2 月 8 日
第 62 回	ボイキラ (イリオマール II)	11 名	17 名	身体測定のみ	2 月 9 日
第 63 回	リヒナ (イリオマール II)	14 名	34 名	身体測定のみ	2 月 10 日
第 64 回	レイロール (アイレベレ)	15 名	28 名	身体測定のみ	2 月 13 日
第 65 回	バイタウ (イリオマール I)	17 名	27 名	身体測定のみ	2 月 14 日
第 66 回	リウファルノ (カエンリウ)	18 名	36 名	身体測定のみ	2 月 16 日
第 67 回	ヘイタリ (アイレベレ)	17 名	29 名	身体測定のみ	2 月 17 日
第 68 回	アカディルロ (フアト)	16 名	24 名	身体測定のみ	2 月 20 日
第 69 回	マアラファル (アイレベレ)	21 名	40 名	身体測定のみ	2 月 21 日

### 3. 母親大会の実施

5歳未満の子どもの身体測定、栄養セミナー、調理セミナーと関連し、子どもの発育状態と AFMET プログラムへの参加率で母親を選出。以下の内容で母親大会を集落レベル、村レベルで実施した。

1. 栄養ゲーム…12種類の食材の書かれたカード(米・パン・さつまいも・タロイモ、肉・魚・豆・牛乳、青菜・かぼちゃ・バナナ・塩)を母親に渡し、何枚のカードを正しい栄養価(炭水化物・タンパク質・ビタミン/ミネラル)の場所におけるかチェックした。
2. 調理に使用する食材について個別に栄養価の説明ができるかどうかチェックした(例:青菜はビタミンが多く含まれていて、この食材は身体をコントロールする等)。
3. 調理の際手洗いをしっかりしているか、正しい調理法を知っているかをチェック。  
これら3項目を、フォーマットを使用して採点。高得点の母親が優勝。

#### 集落レベル大会

回数	実施日	場所	参加者(母親代表)
第1回	11月22日	フアト村	26名(4名)
第2回	11月23日	イリオマールI村	25名(6名)
第3回	11月24日(午前)	イリオマールII村	39名(4名)
第4回	11月24日(午後)	アイレベレ村	41名(5名)
第5回	11月25日	カエンリウ村	22名(5名)

#### 村レベル大会

実施日:2017年3月30日

場所:アイレベレ村

参加者:イリオマール準郡 CHC 栄養課担当者1名、村長1名、看護師2名、PSF5名、AFMET スタッフ3名、一般参加者23名、母親10名(各村2名)

結果: 1位・アイレベレ村、2位・イリオマールI村、3位・カエンリウ村、4位・イリオマールII村、5位・フアト村

#### 成果

- ・イリオマール準郡で SISCa プログラムが再開した。
- ・活動していなかった PSF たちがプログラムに参加するようになった。
- ・プログラムの実施に消極的だった集落長が意識を変え、協力的になり、住民の身体測定への参加率が徐々に増えてきた。
- ・栄養セミナーでは、教材やポスターを用い母親たちが理解しやすい工夫を施すことができた。
- ・母親たちの子どもの発育、栄養状態を把握するモチベーションが上がった。
- ・普段交流の少ない母親たちが集まり、情報交換の場を設けることができた。
- ・連絡がうまくいかず、住民の参加が少ない村もあったが、住民の参加を得られた村での母親大会は大いに盛り上がった。干し肉やモリンガ、家庭で採れた野菜を持参して調理している母親もいた。

#### 課題

- ・モリンガを食べない習慣を持つ部族も存在するので、モリンガにかわる栄養のある食材を考える必要がある。
- ・住民への連絡方法を変える必要がある。



身長測定の様子



栄養セミナーの様子



調理セミナーで作ったおかゆを食べる親子



母親大会 栄養ゲームの様子

## II 健康に関する住民へのサービス及び知識・情報提供事業

### 1. 重度栄養失調時の子どもの家庭訪問、病院搬送

重度栄養失調時とみられる子ども2名をイリオマール準郡 CHC、ロスパロス CSI(県病院)へ搬送。プランピーナッツ(ピーナッツを主原料とした栄養治療食。ピーナッツバターのような味。一袋で500キロカロリーものエネルギーを得ることが可能)を提供した他、家庭訪問を行い、家族へ個別に相談会を実施した。2名とも回復がみられる。継続的にフォローアップを行っている。

第1回家庭訪問： 7月15日、イリオマール II 村カイダブ集落

第2回家庭訪問： 11月8,9日、アイレベレ村、カエンリウ村、イリオマール II 村

### 2. 家庭菜園セミナー

イリオマール準郡農業局スタッフと共に栄養状態を向上させる食材を確保する目的で家庭菜園セミナーを実施した。第1回セミナーでは家庭菜園の作り方、苗/種の植え方、オーガニック肥料の作り方を指導した。第2回では栄養価の高いモリンガの種を各家庭に配布し、実施トレーニングを行い、植え方を直接指導した。

第1回セミナー

実施日：8月23日

方法：教材を使用した説明、実地トレーニング

実施関係者: イリオマール準郡農業局スタッフ2名、AFMET スタッフ2名

参加者:37 名

#### 第2回セミナー

実施日:12月12～16日

方法:教材を使用した説明、実地トレーニング

実施関係者:AFMET スタッフ2名

参加者:24名



重度栄養失調児の家庭訪問の様子



家庭菜園セミナー 実地トレーニングの様子

#### 成果

- ・家庭訪問で母親への個別相談を行うことによって、母親が子どもの成長や栄養に関する理解を深めることができた。
- ・家庭菜園セミナーに参加した住民が、家庭菜園の準備の仕方、オーガニック肥料の作り方について理解した。
- ・セミナー第2回ではモリンガの苗を使用し、植え方を指導することができた。

#### 課題

- ・モリンガに代わる栄養のある食材を探す必要がある。継続的にたんぱく質を摂取することを目標に、現在大豆の育成を試行している。大豆の加工品であるテンペや豆腐などは食べ慣れているため、これらをイリオマールで製造・販売することができるようになれば継続的にたんぱく質の摂取が可能になると考えている。

### Ⅲ プライマリ・ヘルスケアを目的としたコミュニティ事業

#### 1. 現地製品ココナッツオイル生産支援プログラム

2015年度に組織した女性グループは主に農業局からの支援を受け、継続的にバージンココナッツオイルの製造・販売を行っている。AFMETは継続してモニタリングを行い、フォローアップを実施している。今年度はココナッツオイルを使った傷薬(軟膏)も作成し、ロスパロスでの売り上げは好調である。



## 成果

- ・グループメンバーが継続してバージンココナッツオイルを販売し、収入となっている。
- ・オイルを使用した新しい製品を販売開始することができた。

## 課題

- ・継続的にバージンココナッツオイルを購入する顧客を見つける。
- ・掛売でオイルを購入する企業や団体が多く、売掛金の回収が難しい。
- ・メンバー一人ひとりが籠やバケツにオイルを入れて販売に行くため、一度に大量に運搬することが困難である。



バージンココナッツオイルの販売に行くところ



新商品 傷薬に塗る軟膏

## 2. FINI 活動支援

2012年度に AFMET から独立し、政府登録を完了させた FINI は、商業産業環境省からの支援を受け、現在も意欲的に活動を継続している。AFMET は、現地代表が FINI 開催の会議に参加するなど、彼らのアドバイザー的存在として協力関係を継続している。

2016年度 AFMET がFINIとともに実施した会議数:8回

2016年度 FINI が他機関に提出したプロポーザルの数:1回

2016年度顧客数:17店舗(NGO、ホテル含む)

今年度FINIが主催・参加した会議、イベントは次のとおり。

FINI が主催・参加した会議、イベント 詳細

日付	内容	場所	参加人数
8月14、15日	<u>労働基準局主催イベント</u> イベントに FINI が出展。石鹸を販売した	ロスパロス	FINI2名 AFMETスタッフ2名
11月28日～ 12月2日	<u>商業産業環境省主催 文化イベント</u> 文化イベントにFINIが出展。石鹸販売実施。	ロスパロス	FINI2名 AFMET スタッフ1名

## 成果

- ・ロスパロスでの顧客が増えた。
- ・今年もイベントに参加し、FINI 石けんを紹介する事ができた。

## 課題

- ・ FINI の安定的活動継続のためにも、頻回に会議開催を行い支援継続の必要がある。
- ・ 石けん促進活動に消極的になる傾向が見受けられるため、FINI メンバーの意欲の向上に努めたい。
- ・ 販売場所の賃料等に年間500ドルの経費を要している。FINI 自らの土地はあるが、家を建てる必要があり、その経費が必要。

## IV 地域医療行政との連携・協力事業

今年度も、保健、開発行政、他の NGO との連携のため各種会合に参加した。

- ・ 栄養ワーキンググループへの参加 3回（保健省栄養課主催）
- ・ 他機関主催ワーキンググループ、ワークショップ、イベント、会議への参加 9回
- ・ JICA 青年海外協力隊・医療分科会のメンバー7名と協同し、AFMET が栄養プログラムを実施しているラウテン県イリオマール準郡で離乳食の与え方、栄養のある食事とその作り方、母乳体操を住民に指導した。
- ・ 主な連携機関 保健省（栄養課）、農業省（国産物農業広報課）、司法省（市民登録課）、商業環境産業省（住民グループ支援課）、県保健局（公衆衛生課、栄養課、母子保健課）、県農業局（国産物農業広報課）、イリオマール準郡 CHC、NGO フォーラム(FONGTIL)、県庁、JICA（国際協力機構）、NGO（ワールドビジョンジャパン、Child Fund、PARCIC、SHARE、ピースウィンズジャパン、地球のステージ、TID）



医療分科会メンバーによる説明



母乳体操の様子

## 成果

- ・ 他機関との連携を深め、情報交換を行うことが出来た。
- ・ NGO 同士の情報交換が頻回に行われるようになり、連携が深まった。

## 課題

- ・ 今後も視野を広げて多くの機関と協働していきたい。

## V 人材の育成・研修事業

### 1. 他団体(NGO)との協働

AFMET の活動の充実に向け、他 NGO と積極的に協働した。

#### (1) 視察等の受け入れ

- JICA 青年海外協力隊 医療分科会メンバー 視察  
2016年9月14～18日
- JICA 専門家(Industrial policy advisor)森山さん、JOCV コミュニティ開発川本さん グループ訪問  
2016年9月28、29日

(2) AFMETと協働している主な NGO、国際機関

NGO フォーラム(FONGTIL)、Child Fund(東ティモール)、日本カトリック海外宣教者を支援する会(日本)、ピースウィンズジャパン(日本)、ワールドビジョンジャパン(日本)

・国際機関

UNICEF

・その他

ドンボスコフィロロ(東ティモール・サレジオ会)

ドンボスコケリカイ(東ティモール・サレジオ会)

イエズス会(東ティモール)

聖母訪問会メハラ修道院(日本)

(3) 政府関係機関

政府保健省(MoH)

政府農業省(MoA)

政府商業産業環境省(MCI)

政府司法省(MJ)

ラウテン県県庁(Administrasaun)

ラウテン県保健局(DHS)

ラウテン県農業局(MAP)

日本大使館

独立行政法人 国際協力機構(JICA)

## VI 広報・啓発事業

### 1. ニュースレター発行

「東ティモール医療友の会(AFMET)ニュースレター」を発行。2015年度は2回発行。

号数	発行日	内容
第37号	2016年3月26日発行	AFMET の新たな挑戦 イラララル湖とそこに住む先祖 イリオマールの水問題 アンセルモ氏へのインタビュー 日本の小学生に向けた啓発ポスター制作
第38号	2016年12月24日発行	手伝えることがあれば、何でもやりたい JOCV とのコラボレーション企画報告 セミナー参加者へのインタビュー

		東ティモールフェスタ2017
--	--	----------------

## 2. イベント

### (1) 東ティモールフェスタ2016(参加)

上智大学にて行われた東ティモールフェスタ2016に参画した。ブース出展とトークセッション保健分野に参加した。

日時:2016年5月21日(土)13時~19時

会場:上智大学四谷キャンパス9号館地下カフェテリア

### (2) 映画「カンタ!ティモール」上映会とミニ報告会

カトリック厚木教会をお借りし、映画「カンタ!ティモール」上映とミニ報告会を行った。

日時:2016年7月10日(日)12時30分

会場:カトリック厚木教会 聖堂

参加者数:70名

## 3. ポスター作製・配布

横浜雙葉高等学校の生徒のボランティア参加により、「きみのチカラで世界が変わる」を作成。全国のカトリック小学校全校に配布したほか、東ティモールフェスタ参加者に配布した。

A2版 200部作成(2015年度)



## 4. ホームページ

ホームページを随時更新し公開した。

## Ⅶ 会の運営

### 1. 会員

2017年3月31日現在 計 81(個人・団体)

(内訳)

正会員 個人: 42名 団体: 3団体 計 45(個人・団体)

賛助会員 個人: 39名 団体: 3団体 計 42(個人・団体)

## 2. 会議

### (1) 2016年度定例総会

2016年5月28日(土) カトリック雪ノ下教会 2階会議室

議長の選任

役員を選任について

2015年度事業報告並びに収支決算について

2016年度事業計画及び収支予算について

### (2) 理事会

理事会を次のとおり全8回開催した。

回数	開催日	会場	議題等
第75回	2016年4月5日	カトリック雪ノ下教会	2016年度イベントについて他
第76回	2016年5月16日	カトリック雪ノ下教会	総会について他
臨時	2016年5月28日	カトリック雪ノ下教会	正副理事長の選任
第77回	2016年6月21日	カトリック雪ノ下教会	2016年度イベントについて他
第78回	2016年8月17日	カトリック雪ノ下教会	安全対策について他
第79回	2016年10月4日	カトリック雪ノ下教会	今後の活動について他
第80回	2016年11月16日	カトリック雪ノ下教会	任期延長について他
第81回	2016年12月15日	カトリック雪ノ下教会	査証取得について他
第82回	2017年2月1日	カトリック雪ノ下教会	ローカル化について他
第83回	2017年3月8日	カトリック雪ノ下教会	査証取得について他

## ■ X 現地活動支援

現地活動を効果的に実施するため、日本から随時現地活動支援員を次のとおり派遣した。

期間	支援員	内容
2016年 12月4日～9日	山口道孝 金山重之	アニーファンド(理事長:山口道孝氏)の支援を受け、新規事業に資するため、インドネシア・バリ島で行われている「キリンサイ」栽培事業などの視察を行った。

## ■ XI 現地派遣者の派遣

氏名	派遣期間
深堀 夢衣	2016年4月1日～2016年12月9日 2017年4月2日～(継続派遣中)

■ XII 現地ローカルスタッフ

2016年3月31日現在の現地ローカルスタッフは次のとおり。

	氏名	役職
1	Juvenio Soares	現地代表、プロジェクトマネージャー
2	Jose Freitas	フィールドスタッフ
3	Joanico F. X. Alexandre	フィールドスタッフ
4	Antonio Baptista	守衛
5	Marito do Rego	守衛
6	Julio dos Santos	守衛

■ XIII 役員

2016年3月末現在の役員は次のとおり。

	役名	氏名	報酬の有無	備考
1	理事長	小林 裕	無	
2	副理事長	山口 道孝	無	
3	理事	米田 ミチル	無	
4	理事	漆原 比呂志	無	
5	理事	渡邊 怜子	無	
6	理事	金山 重之	無	
7	監事	太田 康雄	無	

### 3. 用語集

AFMET	Alliance of Friends for Medical-care in East Timor
AHISAUN	デイリの障がい者グループ。ポータブルかまど製造で連携。
Alola	東ティモールで活動する国際 NGO。
BESIK	BE'e Saneamentu no Ijiene iha Komunitade (Water, Sanitation and Hygiene in Community)の略。AusAID が東ティモールにおいて実施している衛生プログラムの名前。
CDE	Centru Dezenvolvimento Emperezario の略。政府開発省に属するビジネストレーニングセンター。
CG	Cooperative Group の略。協同組合。
CGRC	Cooperative Group Representative Committee の略。石鹼を製造している 18 グループの代表者からなる協同組合代表者会議。
CHW	Community Health Worker の略。
CLTS	Community Led Total Sanitation の略。住民主導の全村的衛生プログラム。
CSB	Corn Soya Blend の略。トウモロコシと大豆の粉末を混ぜ合わせた栄養サプリメント。
CVTL	Cruz Vermelha de Timor-Leste の略。東ティモールで活動するオーストラリア赤十字。
DHS	District Health Service の略。県保健局。
DLO	District Liaison Officer の略。NGO フォーラムから各県に配属されている NGO の調整要員。
DOTS	Direct Observed Treatment Short-course の略。直接監視下短期化学療法。
Emperezario	東ティモールローカル NGO。
FGD	Focus Group Discussion の略。
FINI	Fuan Ida Neon Ida の略。上記の協同組合代表者会議(CGRC)が改名し、このグループ名で活動している。
FONGTL	Forum Organizasaun Non Governmental Timor Leste の略。東ティモール NGO フォーラム。
Fraterna	東ティモールローカル NGO。CLTS を促進。衛生的なかまど普及事業を協同で実施。
GMF	Group Management Facilitator の略。村の衛生管理チーム。特に水利設備のメンテナンスなどを行う。
HIVOS	Humanistisch Instituut Voor Ontwikkelingssamenwerking (Humanist Institute for Cooperation in full)の略。オランダの NGO。
Icatutuno	東ティモールローカル NGO。Child Fund からローカル化した NGO。
Immanuel clinic	東ティモールで活動する国際 NGO。2013 年度撤退。
KJPS	Komisaun Jestasaun Programa Suco の略。Village Program Management Committee。村のプログラムマネジメントチーム。
KUBASA	Kategorizasaun Uma BAzeia ba Saude Ambiente の略。家庭の衛生環境をカテゴリー分けする全家庭の環境衛生調査。
Marie Stopes International	東ティモールで活動する国際 NGO。

MDM-P	Medicos Do Mundo-Portugal の略。ポルトガルの NGO。2013 年度ラウテン県から撤退。
Meja	テトゥン語で“机”の意。ポスト SISCa ではセクションとして機能。
PAKSI	Plano Aksaun Komunitade Saneamento no Igene の略。衛生環境改善のための住民による活動計画。政府保健省が推進しているプログラム。
PARCIC	東ティモールで活動する日本の NGO。
Plan	東ティモールで活動する国際 NGO。
PSF	Promotor Saude Familia (Family Health Promoter)の略。東ティモール政府保健省に認定されている保健ボランティア。
RWSSP	Rural Water Supply and Sanitation Program の略。AusAID の支援によって東ティモールにおいて衛生プログラムを実施しているグループ。
SAS	Servisu Agua i Saneamentu の略。インフラ省水道局。
SHARE	東ティモールで活動する日本の NGO。
SISCa	Servisu Integrado Saude Comunitaria (Integrated Community Health Service)の略。農村部において月に 1 度村に医療チームを派遣し、住民に保健サービスを提供する東ティモール政府保健省のプログラム。
TB	Tuberculosis 結核
TIMORI	ラウテン県に存在するココナッツオイル製造会社。
VIVASIOUS	ラウテン県に存在する建設会社。



## 2016年度 活動計算書

2016年4月1日 から 2017年3月31日 まで

特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

(単位:円)

科目名	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
<b>1 受取会費</b>		
正会員受取会費	145,000	
賛助会員受取会費	91,000	<b>236,000</b>
<b>2 受取寄付金</b>	788,753	<b>788,753</b>
<b>3 受取助成金等</b>	2,820,350	<b>2,820,350</b>
<b>4 その他収益</b>		
受取利息	504	
雑収益	26,162	<b>26,666</b>
<b>経常収益計</b>		<b>3,871,769</b>
<b>II 経常費用</b>		
<b>1 事業費</b>		
<b>(1) 人件費</b>		
給料手当	1,857,347	
<b>人件費計</b>	<b>1,857,347</b>	
<b>(2) その他経費</b>		
会場費	61,997	
諸謝金	5,209	
旅費交通費	1,694,616	
通信運搬費	57,759	
会議費	240,635	
消耗品費	595,740	
印刷製本費	85,473	
賃借料	623,238	
保守整備費	386,340	
水道光熱費	12,993	
燃料費	235,715	
支払手数料	11,160	
<b>その他経費計</b>	<b>4,010,875</b>	
<b>事業費計</b>		<b>5,868,222</b>
<b>2 管理費</b>		
<b>(1) 人件費</b>		
給料手当	0	
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	
<b>(2) その他経費</b>		
旅費交通費	0	
通信運搬費	35,637	
賃借料	33,329	
支払手数料	42,352	
消耗品費	5,301	
減価償却費	700,606	
諸会費	33,329	
租税公課	13,750	
雑費	18,087	
<b>その他経費計</b>	<b>882,391</b>	
<b>管理費計</b>		<b>882,391</b>
<b>経常費用計</b>		<b>6,750,613</b>
<b>当期経常増減額</b>		<b>△ 2,878,844</b>
当期正味財産増減額		△ 2,878,844
前期繰越正味財産額		6,978,370
次期繰越正味財産額		4,099,526

## 2016年度 貸借対照表

2017年3月31日現在

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	3,303,076		
流動資産合計		3,303,076	
2 固定資産			
車輛運搬具	796,449		
什器備品	1		
固定資産合計		796,450	
資産合計			4,099,526
II 負債の部			
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,978,370	
当期正味財産増加額		△ 2,878,844	
正味財産合計			4,099,526
負債及び正味財産合計			4,099,526

2016年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

1. 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正 NPO法人会計基準協議会)によっています。

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
固定資産は、定額法で償却をしています。

2. 事業別損益の状況  
事業別損益の状況は以下の通りです。

(単位:円)

科目	PHC普及啓発事業	健康情報提供事業	PHCコミュニティ作り事業	医療行政協力事業	人材育成	広報啓発事業	事業部門計	管理部門	合計
<b>I 経常収益</b>									
1. 受取会費							0	236,000	236,000
2. 受取寄付金	500,000	100,000	80,000	108,753			788,753		788,753
3. 受取助成金等	2,820,350						2,820,350		2,820,350
5. その他収益							0	26,666	26,666
<b>経常収益計</b>	<b>3,320,350</b>	<b>100,000</b>	<b>80,000</b>	<b>108,753</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>3,609,103</b>	<b>262,666</b>	<b>3,871,769</b>
<b>II 経常費用</b>									0
(1) 人件費									0
給料手当	1,573,468	283,879					1,857,347		1,857,347
<b>人件費計</b>	<b>1,573,468</b>	<b>283,879</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,857,347</b>	<b>0</b>	<b>1,857,347</b>
(2) その他経費									
旅費交通費	983,143	393,408	84,822	220,697	12,546		1,694,616		1,694,616
通信運搬費	50,963	5,465		1,151		180	57,759	35,637	93,396
会議費	92,558	39,123	5,182	103,262	510		240,635		240,635
会場費	36,523			25,474			61,997		61,997
諸謝金	5,209						5,209		5,209
消耗品費	357,613	163,828	5,591	66,500		2,208	595,740	5,301	601,041
印刷製本費						85,473	85,473		85,473
賃借料	621,016			2,222			623,238	33,329	656,567
保守整備費	386,340						386,340		386,340
水道光熱費	12,993						12,993		12,993
燃料費	179,942	34,974	13,206	7,593			235,715		235,715
業務委託費							0		0
医薬品購入費							0		0
減価償却費							0	700,606	700,606
支払手数料						11,160	11,160	42,352	53,512
諸会費							0	33,329	33,329
租税公課							0	13,750	13,750
雑費							0	18,087	18,087
<b>その他経費計</b>	<b>2,726,300</b>	<b>636,798</b>	<b>108,801</b>	<b>426,899</b>	<b>13,056</b>	<b>99,021</b>	<b>4,010,875</b>	<b>882,391</b>	<b>4,893,266</b>
<b>経常費用計</b>	<b>4,299,768</b>	<b>920,677</b>	<b>108,801</b>	<b>426,899</b>	<b>13,056</b>	<b>99,021</b>	<b>5,868,222</b>	<b>882,391</b>	<b>6,750,613</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 979,418</b>	<b>△ 820,677</b>	<b>△ 28,801</b>	<b>△ 318,146</b>	<b>△ 13,056</b>	<b>△ 99,021</b>	<b>△ 2,259,119</b>	<b>△ 619,725</b>	<b>△ 2,878,844</b>

3. 施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳  
施設の提供等の物的サービスの受入れはありません。
4. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳  
新規事業(キリンサイ)におけるインドネシア視察経費(361,876円)は、全額アニーファンド(山口道孝理事長)からの支援によるものです。
5. 使途等が制約された寄付・助成金等の内訳  
使途等が制約された寄付・助成金等の内訳は以下の通りです。  
当法人の正味財産は4,099,526円ですが、使途が制約されている正味財産はありません。

(単位:円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
PHC普及啓発事業	0	3,320,350	3,320,350	0	味の素株式会社「食と健康」国際協力プログラムの助成金(2,820,350円)により事業を実施。
健康情報提供事業	0	100,000	100,000	0	
PHCコミュニティ作り事業	0	80,000	80,000	0	
医療行政協力事業	0	108,753	108,753	0	
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>3,609,103</b>	<b>3,609,103</b>	<b>0</b>	

6. 固定資産の増減内訳  
固定資産の増減は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	期末取得価額	当期減価償却額	期末帳簿価額
有形固定資産						
車両運搬費	1,489,657	0	0	1,489,657	△ 693,208	796,449
什器備品	7,399	0	0	7,399	△ 7,398	1
<b>合計</b>	<b>1,497,056</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1,497,056</b>	<b>△ 700,606</b>	<b>796,450</b>

7. 借入金の増減内訳  
借入金はありません。
8. 役員及びその近親者との取引の内容  
役員及びその近親者との取引はありません。
9. その他  
支出における月々の外貨換算レートについては、JICA統制レートを使用しています。

## 2016年度 財産目録

2017年3月31日現在

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

(単位：円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b> 1 流動資産 現金 手元現金 現地現金 預金 三菱東京UFJ銀行 六本木支店 普通 六本木支店 定期 郵便振替口座 現地普通預金 ANZ銀行DILI支店 MANDIRI銀行 流動資産合計  2 固定資産 有形固定資産 車輛運搬具 トヨタハイックス 1台 トヨタハイックス 1台 (東ティモールにて登録使用) 什器備品 パソコン1台 固定資産合計 資産合計	2,653 594,817  1,035,464 10,032 1,605,517 89 54,504   172,741 623,708  1  796,450	3,303,076            4,099,526	0 4,099,526
<b>II 負債の部</b>  負債合計 正味財産			0 4,099,526

## 2016年度 活動計算書(前年対比)

2016年4月1日 から 2017年3月31日 まで

特定非営利活動法人 東ティモール医療友の会

(単位:円)

科目名	当年度	前年度	差異
<b>I 経常収益</b>			
<b>1 受取会費</b>			
正会員受取会費	145,000	95,000	50,000
賛助会員受取会費	91,000	78,000	13,000
<b>2 受取寄付金</b>	788,753	6,484,703	△ 5,695,950
<b>3 受取助成金等</b>	2,820,350	2,563,057	257,293
<b>4 その他収益</b>			
受取利息	504	642	△ 138
雑収益	26,162	0	26,162
<b>経常収益計</b>	<b>3,871,769</b>	<b>9,221,402</b>	<b>△ 5,349,633</b>
<b>II 経常費用</b>			
<b>1 事業費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	1,857,347	1,845,280	12,067
<b>人件費計</b>	<b>1,857,347</b>	<b>1,845,280</b>	<b>12,067</b>
<b>(2) その他経費</b>			
会場費	61,997	0	61,997
諸謝金	5,209	0	5,209
旅費交通費	1,694,616	1,099,553	595,063
通信運搬費	57,759	171,645	△ 113,886
会議費	240,635	202,216	38,419
消耗品費	595,740	486,559	109,181
印刷製本費	85,473	184,493	△ 99,020
賃借料	623,238	473,672	149,566
保守整備費	386,340	400,355	△ 14,015
水道光熱費	12,993	38,061	△ 25,068
燃料費	235,715	505,656	△ 269,941
支払手数料	11,160	61,716	△ 50,556
<b>その他経費計</b>	<b>4,010,875</b>	<b>3,623,926</b>	<b>386,949</b>
<b>事業費計</b>	<b>5,868,222</b>	<b>5,469,206</b>	<b>399,016</b>
<b>2 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	0	0	
<b>人件費計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>(2) その他経費</b>			
旅費交通費	0	32,326	△ 32,326
通信運搬費	35,637	3,740	31,897
修繕費		124,933	△ 124,933
賃借料	33,329	0	33,329
支払手数料	42,352	8,836	33,516
消耗品費	5,301	20,389	△ 15,088
減価償却費	700,606	737,598	△ 36,992
諸会費	33,329		33,329
租税公課	13,750	3,699	10,051
雑費	18,087		18,087
<b>その他経費計</b>	<b>882,391</b>	<b>931,521</b>	<b>△ 49,130</b>
<b>管理費計</b>	<b>882,391</b>	<b>931,521</b>	<b>△ 49,130</b>
<b>経常費用計</b>	<b>6,750,613</b>	<b>6,400,727</b>	<b>349,886</b>
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 2,878,844</b>	<b>2,820,675</b>	<b>△ 5,699,519</b>
当期正味財産増減額	△ 2,878,844	2,820,675	△ 5,699,519
前期繰越正味財産額	6,978,370	4,157,695	2,820,675
次期繰越正味財産額	4,099,526	6,978,370	△ 2,878,844

## 監査意見書

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会定款第15条第4項の規定に基づき、2016年度における事業の執行状況並びに財務の状況について、当該年度の理事会議事録、活動報告書及び活動計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表並びに財産目録、更にはこの内容を証する関係諸帳簿、証拠書類等を精査したところ、いずれも適正に処理されていると認められた。

2017年 5月24日

特定非営利活動法人東ティモール医療友の会

監 事

太田